



今年度最終号です。2月中旬～3月のSPH事業を報告します。

①1年国内インターンシップ (2/13～16)

多様な文化や価値観を理解し、他者の存在を認め他者と協働し、グローバルに活躍できる力

社会人としてのマナーを身につけるとともに、「働くとは何か」「自分は何に向いているのか」など、望ましい勤労観や職業観を身につけて、主体的に進路選択ができる力をつけるため、1年生全員が4日間のインターンシップに行きました。職場でいろいろな話を聞き、少しだけ仕事をさせてもらったり、時には失敗して怒られたりしながら、職場の方々やお客様とのコミュニケーションの大切さを感じることができました。多様な価値観に触れ、いろいろな考え方があることを改めて知ることができました。

《生徒の感想文から》

「お金を稼ぐことがどれだけ大変かということを知ることができました。自分が任された仕事を完璧に仕上げたり、そのことをちゃんと期限を守ってすることが大切と分かりました。」

「親が毎日僕のために朝早くから働いてくれていることやそのおかげで生活ができていくことに感謝したいです。」

「職場の方たちも本当にみなさんいい人ばかりで、わからないことを聞いても、いやな顔一つせず教えてくださいました。」

「ビジネス基礎の授業に出てきた小切手などを実際見せていただき、角印・丸印押しもしました。」



②高大連携事業(3/3)－滋賀大学経済学部史料館見学

高度な専門知識を活用し、説明責任を果たせる力

1, 2年生の希望者19名が滋賀大学経済学部附属資料館を見学に行きました。「近江商人探究I」の授業などで紹介されている二代伊藤忠兵衛氏のことについて、生い立ちから行商でのエピソードまで詳しくお話をいただき、八商との深いつながりを説明していただきました。また、当時の様子を知ることのできる貴重な資料を見ることもできました。

③海外インターンシップ報告会(3/6, 3/12)

多様な文化や価値観を理解し、他者の存在を認め他者と協働し、グローバルに活躍できる力

年末に海外インターンシップに行った生徒2名が2-6と1-6の生徒を対象に報告会を行いました。その時の印象や経験、工夫したことなどを映像を交えて詳しく話してくれました。また、3月12日の報告会ではナカザワグループの井上部長様にもお越しいたいただき、海外で事業を立ち上げたときの苦労話や生活の様子、そして新しいことへの挑戦であるがゆえのやりがいについてお話していただきました。

今や否応なしでつながっている世界。八商で学んだ生徒であることに自信をもって、恐れずどんどん海外にも進出し、新たなビジネスを切り開いていってください。これからの時代を築くみなさんに期待します！

